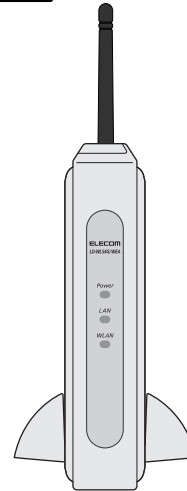


ELECOM

Air @ Hawk



Wireless LAN Ethernet Adapter

IEEE802.11b/g対応
ワイヤレス イーサネットアダプタ

LD-WL54G/WEA

セットアップの前に必ずお読みください

P1～P35

必要に応じてお読みください

セキュリティ設定	P27
設定ユーティリティのリファレンス	P36
トラブルが発生した場合	P47
設定に役立つ補足説明	P50

User's Manual

エレコム株式会社

●無線規格の表記について

このマニュアルでは紙面上の都合により、一部を除いて"LD-WL54G/WEA"を「本製品」と表記しているほか、無線LANの規格名を次のように省略しています。

- ・IEEE802.11b (2.4GHz : 11Mbps)→11b
- ・IEEE802.11g (2.4GHz : 54Mbps)→11g

●このマニュアルで使われている用語

用 語	意 味
無線クライアント	無線LANアダプタを取り付けたネットワーク上のコンピュータのことを、このマニュアルでは無線クライアントと表記しています。

●このマニュアルで使われている記号

記 号	意 味
	作業上および操作上で特に注意していただきたいことを説明しています。この注意事項を守らないと、けがや故障、火災などの原因になることがありますので注意してください。
	説明の補足事項や知っておくと便利なことを説明しています。
	キーボード上のキーを表わします。

ご注意

- 本製品の仕様および価格は、製品の改良等により予告なしに変更する場合があります。
- 本製品に付随するドライバ、ソフトウェア等を逆アセンブル、逆コンパイルまたはその他リバースエンジニアリングすること、弊社に無断でホームページ、FTPサイトに登録するなどの行為を禁止させていただきます。
- このマニュアルの著作権は、エレコム株式会社が所有しています。
- このマニュアルの内容の一部または全部を無断で複製/転載することを禁止させていただきます。
- このマニュアルの内容に関しては、製品の改良のため予告なしに変更する場合があります。
- このマニュアルの内容に関しましては、万全を期しておりますが、万一ご不審な点がございましたら、弊社ラード・サポートセンターまでご連絡ください。
- 本製品のうち、戦略物資または役所に該当するものの輸出にあたっては、外国為替法に基づく輸出または役務取引許可が必要です。
- 本製品は日本国内での使用を前提に製造されています。日本国外での使用による結果について弊社は一切の責任を負いません。また、本製品について海外での保守、サポートはおこなっておりません。
- 本製品を使用した結果によるお客様のデータの消失、破損など他への影響につきましては、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。重要なデータについてはあらかじめバックアップするようにお願いいたします。
- Atheros™、およびAtheros Total 802.11™のロゴはAtheros Communications, Inc.の商標です。Microsoft、Windowsは米国Microsoft Corporationの登録商標です。そのほか、このマニュアルに掲載されている商品名/社名などは、一般に各社の商標ならびに登録商標です。本文中における®および™は省略させていただきます。

IEEE802.11b/g 対応
ワイヤレス イーサネットアダプタ

LD-WL54G/WEA

User's Manual
ユーザズマニュアル

■ はじめに ■

この度は、弊社の無線LAN "Air@Hawk"シリーズのワイヤレス イーサネットアダプタ"LD-WL54G/WEA"をお買い上げいただき誠にありがとうございます。このマニュアルでは"LD-WL54G/WEA"をコンピュータに導入するための手順を説明しています。また、お客様に"LD-WL54G/WEA"を安全にお取り扱いいただくための注意事項を記載しています。導入作業を始める前に必ずこのマニュアルをお読みになり、安全に導入作業をおこない、製品を使用してください。

このマニュアルは、製品の導入後も大切に保管しておいてください。

導入の手順

1

はじめに確認します

- 梱包品の内容を確認します。→P7
- 注意事項を確認します。→P4
- 本製品を使用するにあたっての知っておいていただきたいことを確認します。→P14
- 無線LANの必要な情報をメモします。→P16



2

設定用の環境を準備します

- ①本製品の設定に必要な条件を備えたWindowsマシンを用意します。→P18
- ②本製品の設定ユーティリティを使用するために、本製品のIPアドレス(192.168.1.230)にアクセスできるよう設定用コンピュータの環境を設定します。→P17
- ③本製品と設定用コンピュータのLANポートを付属のLANケーブルで接続します。→P20



3

本製品の設定ユーティリティで必要な設定をします

- ①Internet Explorerを起動し、「http://192.168.1.230」と入力して設定ユーティリティを表示します。→P21
- ②〈接続先の選択〉画面で接続先のSSIDを選択します。接続先を設定したら本製品を再起動します。→P23
- ③ご使用の無線LANがWEP(64/128/152ビット)またはWPA-PSKを使用している場合は、セキュリティを設定します。→P27



4

本製品を有線LAN機器に接続します

- ①本製品を接続する前に、有線LAN機器をいったんLANケーブルで有線LANに接続し、有線LAN機器が有線LAN上では正常に動作することを確認しておきます。→P33
- ②本製品を有線LAN機器のLANポートにLANケーブルで接続します。→P34



無線LAN経由で接続できることを確認します。 正常にアクセスできれば導入作業は完了です。

- もう一度、本製品を使用するにあたっての知っておいていただきたいことを確認します。→P14

設定ユーティリティのその他の機能を設定する場合

- | | |
|---------------|----------------|
| ●システム状態→P41 | ●接続先の選択→P23 |
| ●無線LAN設定→P37 | ●セキュリティ設定→P27 |
| ●IPアドレス設定→P39 | ●パスワードの変更→P42 |
| ●設定の初期化→P43 | ●ファームウェア更新→P44 |
| ●再起動→P45 | |

設定用コンピュータの設定方法がわからないとき

- IPアドレスとは→P50
- コンピュータのIPアドレスの設定方法→P52

正常に動作に動作しないとき

- こんなときは→P47
- サポートサービスについて→P60

安全にお使いいただくために

けがや故障、火災などを防ぐために、ここで説明している注意事項を必ずお読みください。

	警告	この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などによる死亡や大けがなど人身事故の原因になります。
	注意	この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり、他の機器に損害を与えたりすることがあります。



警告

 心臓ペースメーカーを使用している人の近く、医療機器の近くなどで本製品を含む無線LANシステムをご使用にならないでください。心臓ペースメーカーや医療機器に影響を与え、最悪の場合、生命に危険を及ぼす恐れがあります。

 小さな子供のいるそばで、取り付け取りはずしの作業を行わないでください。また、子供のそばに工具や部品を置かないようにしてください。けがや感電、部品を飲み込んだりする危険性があります。

 本製品の取り付け、取りはずしの際は、必ず本製品を接続する機器メーカーの注意事項に従ってください。

 本製品の分解、改造、修理をご自分で行わないでください。火災や感電、故障の原因になります。また、故障時の保証の対象外となります。

 本製品から煙やへんな臭いがしたときは、直ちに使用を中止し、ACコンセントからACアダプタを抜いてください。そのあと、ご購入店などにご連絡ください。そのまま使用すると、火災や感電、故障の原因になります。

 本製品に水などの液体や異物が入った場合は、直ちに使用を中止し、ACコンセントからACアダプタを抜いてください。そのあと、ご購入店などにご連絡ください。そのまま使用すると、火災や感電、故障の原因になります。

 水を使う場所や湿気の多いところで本製品を使用しないでください。火災や感電、故障の原因になります。



注意

 ケーブル類の取り付け、取りはずしの際は、コネクタ類を無理に脱着することがないように慎重に作業してください。強引な着脱は機器の故障や、けがの原因になります。

 本製品を壁面や高所に設置する場合は、本製品が落下しないように設置してください。本製品の故障や、けがの原因になります。

 本製品を次のようなところで使用しないでください。

- ・高温または多湿なところ、結露を起こすようなところ
- ・直射日光のあたるところ
- ・平坦でないところ、土台が安定していないところ、振動の発生するところ
- ・静電気の発生するところ、火気の周辺

 長期間、本製品を使用しないときは、ACコンセントからACアダプタを抜いてください。故障の原因になります。

無線LANをご使用になるにあたってのご注意

●無線LANは無線によりデータを送受信するため盗聴や不正なアクセスを受ける恐れがあります。無線LANをご使用になるにあたってはその危険性を十分に理解し、データの安全を確保するためセキュリティ設定をおこなってください。また、個人データなどの重要な情報は有線LANを使うこともセキュリティ対策として重要な手段です。

●本製品は電波法に基づき、特定無線設備の認証を受けておりますので免許を申請する必要はありません。ただし、以下のことは絶対に行わないようにお願いします。

- ・本製品を分解したり、改造すること
- ・本製品の背面に貼り付けてある認証ラベルをはがしたり、改ざん等の行為をすること
- ・本製品を日本国外で使用する

これらのことに違反すると法律により罰せられることがあります。

●電子レンジの近くで本製品を使用すると無線LANの通信に影響を及ぼすことがあります。

はじめに	1	9. 本製品を接続する	33
導入の手順	2	本製品を接続する前に	33
安全にお使いいただくために	4	本製品を接続する	34
もくじ	6	無線LANにアクセスできるかを 確認する	35
1. パッケージの内容を確認する	7	10. 設定ユーティリティの リファレンス	36
2. 製品の保証	8	管理者用メインメニューの項目	36
3. 本製品の概要について	9	無線LAN設定	37
本製品の特長	9	IPアドレス設定	39
本製品の動作環境	10	システム状態	41
各部の名称とはたらき	11	パスワードの変更	42
4. 本製品を使用するにあたって	14	設定の初期化	43
5. 事前にお調べください	16	ファームウェア更新	44
6. 設定用の環境を用意する	17	再起動	45
設定に必要な機器を用意する	18	11. こんなときは	47
設定用コンピュータの環境を 設定する	19	12. 設定に役立つ補足説明	50
設定用コンピュータを接続する	20	IPアドレスについて	50
7. 本製品を設定する	21	設定用コンピュータの環境を 設定する(詳細説明)	52
設定ユーティリティを表示する	21	13. サポートサービスについて	60
接続先を選択する	23	14. 基本仕様	61
8. セキュリティ機能を設定する	27		
WEPを設定する	27		
WPA-PSKを設定する	31		

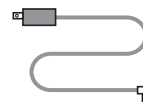
本製品のパッケージには次のものが入っています。作業を始める前に、すべて揃っているか確かめてください。なお、梱包には万全を期しておりますが、万一、不足品や破損品などがありましたら、すぐにお買い上げの販売店までご連絡ください。

●ワイヤレス イーサネットアダプタ 1台 "LD-WL54G/WEA"



※出荷時、
外部アンテナと
縦置スタンドは
未装着です。

●ACアダプタ 1個 本製品専用のアダプタです。



●LANケーブル 1本



●ユーザズマニュアル 1冊 (このマニュアルです)



●保証書 1枚



2 製品の保証

Power@Home

本製品には保証書が付いています。内容をお確かめの上、大切に保管してください。

●保証期間

保証期間はお買い上げの日より1年間です。保証期間を過ぎたの修理は有料になります。詳細については保証書をご覧ください。保証期間中のサービスについてのご相談は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

●保証範囲

次のような場合は、弊社は保証の責任を負いかねますので、ご注意ください。

- ・ 弊社の責任によらない製品の破損、または改造による故障
- ・ 本製品をお使いになって生じたデータの消失、または破損
- ・ 本製品をお使いになって生じたいかなる結果および、直接的、間接的なシステム、機器およびその他の異常

詳しい保証規定につきましては、保証書に記載されている保証規定をお確かめください。

●その他のご質問などに関して

P60「13.サポートサービスについて」をお読みください。

3 本製品の概要について

Power@Home

本製品の特長

●本製品を接続することによりさまざまな有線LAN機器を無線化

設定ユーティリティからの簡単な設定(SSIDとセキュリティ)だけで、あとは本製品をLANケーブルでつなげば、パソコンやLAN対応プリンタ、デジタル家電、ゲーム機など、さまざまな有線LAN機器を無線LANで接続できるようになります。

※ハブを経由して複数の有線LAN機器を接続することはできません。本製品を使用する場合は必ず本製品と無線化する機器の有線LANポートを1対1で接続してください。

●機器の種類やOSに制約はありません

Windowsマシンはもちろん、Linux、Macintoshなど、有線LANポートを搭載しているさまざまな機器への接続が可能です。

※設定の変更が必要な場合のみ、Windowsマシンにいったん接続し、WEBブラウザ画面で設定する必要があります。

●IEEE802.11b/11gの両規格に対応

2.4GHz帯で最大伝送速度54MbpsのIEEE802.11gと、同じく2.4GHz帯で最大伝送速度11MbpsのIEEE802.11bの2つの規格に対応したワイヤレスイーサネットアダプタです。目的に合わせて2つの通信速度を使用することができます。

※アドホック・モードの接続保証は本製品同士の場合のみ、また11bのみの対応になります。

●伝送方式にOFDM方式を採用

IEEE802.11gが採用しているOFDM(Orthogonal Frequency Division Multiplexing = 直交周波数分割多重)方式は、周囲のノイズに強い伝送方法です。従来からのIEEE802.11bはDS-SS(直接拡散スペクトラム拡散)方式を採用しています。

●最新のセキュリティ規格WPA-PSKに対応

無線LANの普及団体Wi-Fiアライアンスが提唱する最新のセキュリティ規格である“WPA-PSK”に対応しています。WPA-PSKは簡単な設定でWEPよりも高い安全性を提供するセキュリティ機能です。

●暗号化方式としてWEPとTKIPに対応

従来からの暗号化方式であるWEPは64/128/152ビットでの暗号化に対応。WPA-PSKでは最新の暗号化方式“TKIP”に対応しています。“TKIP”は一定時間ごとに暗号を自動的に変更するので、長時間に渡って盗聴されても解析はほぼ不可能になります。

●スループットを向上するスーパーGモード搭載

IEEE802.11g規格での通信に「スーパーGモード」を使用できます。従来よりも高速転送が可能な「バースト転送」を採用し、さらにデータを圧縮することでスループットが大幅に向上されます。

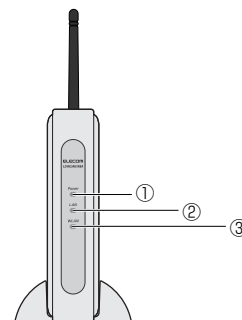
※弊社製スーパーGモード対応の無線LAN製品と組み合わせて使用する必要があります。

●その他の機能

- ・別途ネジを用意することで、壁に掛けての設置が可能です。
- ・ファームウェアは、設定ユーティリティを使って弊社ホームページからダウンロードすることで、いつでも最新バージョンに更新できます。

各部の名称とはたらき

■正面



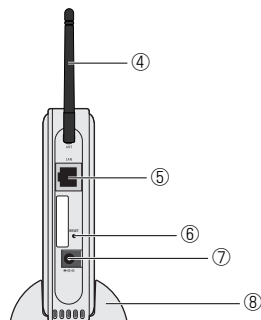
本製品の動作環境

本製品を接続可能な機器	イーサネット有線LANポートを装備するコンピュータ、ネットワークプリンタ、デジタル家電機器、ゲーム機など
設定ユーティリティの起動に必要な条件	10BASE-Tまたは100BASE-TXの有線LANポートを装備し、Microsoft Internet Explorer バージョン5.5以上を搭載するWindowsマシン※

※他のWEBブラウザ設定ソフト、Windows以外のコンピュータを使用した場合の動作は保証しておりません。

①	Power ランプ	本製品の電源が入っているときに点灯します。ただし、以下の場合は点滅状態になります。 ・電源を入れた直後 ・再起動したとき ・リセットボタンまたは設定ユーティリティを使用して、初期値(工場出荷時の設定)に戻したとき これらの場合、点滅状態から点灯状態に変わった時点で使用可能になります。
②	LAN ランプ	有線LAN機器と本製品が正常に接続されているときに点灯します。本製品～有線LAN間でデータを送受信しているときは点滅します。
③	WLAN ランプ	インフラストラクチャ・モード：アクセスポイントに接続している場合は、一定間隔でゆっくり点滅します。切断している場合は消灯します。 アドホック・モード：起動後、一定時間が経過し、接続準備が完了すると、消灯から点滅に変わります。 モードに関係なく、無線LANでデータを送受信しているときは転送速度に従って点滅が早くなります。

■背面

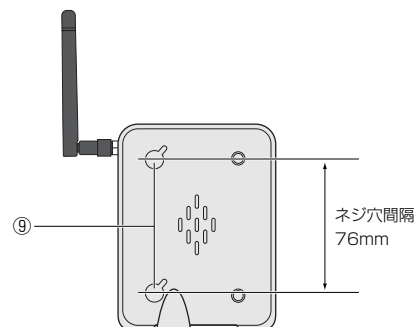


④	外部アンテナ	ダイバシティアンテナのうちの1本です。もう1本は本体に内蔵されています。外部アンテナは角度を調整することができます。出荷時は未装着です。
⑤	LANポート	無線化する機器の有線LANポートとLANケーブルで接続します。
⑥	リセットボタン	このボタンを押すと本製品の設定を初期値(工場出荷時の設定)に戻すことができます。手順については下記の「MEMO」を参照してください。
⑦	DC IN	本製品に付属のACアダプタのプラグを差し込みます。本製品に付属のACアダプタ以外は絶対に使用しないでください。
⑧	縦置スタンド	本製品を縦置きで使用するときに取り付けます。出荷時は未装着です。

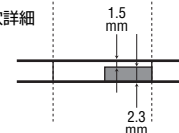
MEMO リセットボタンによる本製品の初期化

- ① まっすぐに伸ばしたゼムクリップなど先の細いものを用意します。
- ② 本製品のACアダプタをいったんACコンセントからはずし、もう一度差し込みます。
- ③ Powerランプが点灯するのを確認します。
- ④ ①で用意したゼムクリップなどを使ってリセットボタンを5秒以上押し続け、Powerランプが消灯するのを確認したら、リセットボタンを離します。
- ⑤ Powerランプが点滅します。しばらくして点灯状態になれば初期化は完了です。

■右側面



ネジ穴詳細

ネジ穴詳細
(断面)

ネジ部分寸法

ネジ部位名	取付可能なネジ寸法	推奨ネジ寸法
ネジ頭	10mm未満	6.7mm
ネジ頭の厚み	2.3mm未満	2.0mm
ネジの太さ	4.6mm未満	3.5mm
ネジの長さ	—	15mm

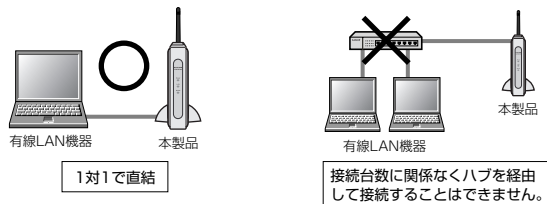
⑨	壁面 取り付け穴	本製品を壁面に取り付けるときに使用する穴です。別途、ご用意いただいたネジをこの穴に引っ掛けて固定します。
---	-------------	--

4 本製品を使用するにあたって

本製品を使用するにあたって気にとめておいていただきたいことを説明しています。本製品の設定前と設定後に1度ずつ必ずお読みください。

●必ず本製品と有線LAN機器は1対1で直結してください

本製品を設定するとき、本製品を使用するときのいずれも、必ず本製品とコンピュータなどの有線LAN機器の有線LANポートを1対1で直結してください。ハブを経由しての接続には対応しておりません。



●本製品を設定する場合の注意点

- ・本製品を設定するには設定用のコンピュータとしてWindowsマシンが1台必要です。
- ・本製品を設定する場合は、本製品と設定用コンピュータを1対1で直結してください。
- ・無線LAN経由で本製品を設定することはできません。
- ・本製品の設定後に設定を変更する場合は、必ず本製品と設定用コンピュータを1対1で直結してから設定ユーティリティにアクセスしてください。

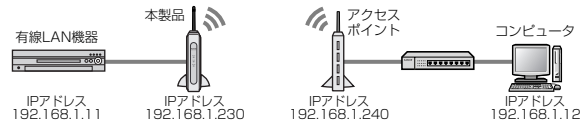
詳しくはP17「6.設定用の環境を用意する」をお読みください。

●本製品と本製品を接続した有線LAN機器について

本製品は有線LANポートを無線化し、無線LANに接続するためのコンバータ機能を持つデバイスであり、ネットワーク上でネットワークアダプタとして認識されるわけではありません。ネットワーク上では、本製品を接続した機器に搭載された有線LANアダプタがネットワークアダプタとして認識されます。例えば、Windowsマシンに本製品を接続した場合、そのマシンのデバイスマネージャ画面でネットワークアダプタとして表示されるのはそのマシンに搭載されている有線LANアダプタであり、本製品ではありません。

●本製品と本製品を接続する有線LAN機器のIPアドレスについて

本製品を接続したデジタル家電やコンピュータなどの有線LAN機器で1個のIPアドレス、本製品で1個のアドレスの合計2個のIPアドレスを使用します。本製品を接続した有線LAN機器にIPアドレスを使ってアクセスする場合は、本製品のIPアドレスではなく、本製品を接続した有線LAN機器が持つIPアドレスを指定してください。



上記の例の場合、有線LAN機器と本製品で1個ずつのIPアドレスを使用します。IPアドレスを使って有線LAN機器にアクセスする場合は、有線LAN機器が持つIPアドレス(例では192.168.1.11)でアクセスします。

●アクセスポイントのMACアドレスフィルタリング機能を使用している場合

本製品がアクセスするアクセスポイントでMACアドレスフィルタリング機能を使用している場合、本製品のMACアドレスではなく、本製品に接続した有線LAN機器のMACアドレスを設定してください。

●本製品を接続する有線LAN機器を変更する場合

必ず、接続する機器の電源を切った状態で本製品を接続してください。切り替え後、正常に通信できない場合は、いったん本製品および本製品を接続した機器の電源を切ります。次に、先に本製品の電源を入れ、Powerランプが点滅から点灯に変わった後、本製品を接続した機器の電源を入れてください。

●無線LANのセキュリティ

無線LANは盗聴や不正アクセスなどの危険性があります。したがって、無線LANをご使用になる場合はセキュリティ機能を設定することをお勧めします。クレジット決済、インターネットバンキング、インターネット通販など個人情報を送信する場合は、十分なセキュリティを設定しておくか、有線LANを経由して送信してください。

●スーパーGモードについて

本製品はIEEE802.11g機器で通信する場合に、スループットを大幅に向上できる「スーパーGモード」に対応しています。詳しくはP38の説明をお読みください。

5 事前にお調べください

本製品の設定や接続をはじめる前に、本製品を接続する無線LAN機器に関する設定をあらかじめ調べておいてください。ここで調べた情報は、後で設定ユーティリティを使って本製品を設定するときに必要なになります。



無線LANに関する情報は安全のため、別紙か、このページをコピーした用紙に記入することをお勧めします。このページに情報を記入した場合は、第三者に内容を見られないようにご注意ください。

■本製品がアクセスする無線LANのSSID (P23で使用)

大文字と小文字が区別されますので正確に記入してください。

■本製品がアクセスする無線LANのセキュリティ設定

WEPを使用している場合(P27で使用) ①～④はいずれかに○をしてください

①認証方式： オープンシステム シェアードキー

※認証方式がわからない場合はオープンシステムを選択

②WEPキー入力方式： ASCII文字 16進数(HEX)

③WEPキーサイズ： 64ビット 128ビット 152ビット

④キー番号： キー1 キー2 キー3 キー4

⑤WEPキー

ASCII文字の場合は大文字と小文字が区別されますので正確に記入してください。

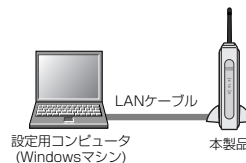
WPA-PSKを使用している場合(P31で使用)

事前共有キー

大文字と小文字が区別されますので正確に記入してください。

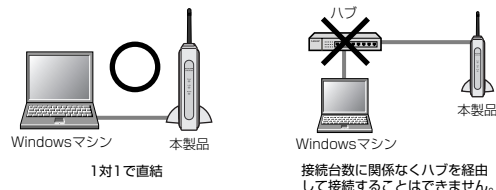
6 設定用の環境を用意する

本製品の設定には、設定用コンピュータとしてWindowsマシンを1台用意し、本製品とLANケーブルで直結する必要があります。必ずこのあとの説明をお読みになり、あらかじめ設定用の環境をご用意ください。



●必ず本製品と有線LAN機器は1対1で直結してください

本製品を設定するときは、必ず本製品と設定用コンピュータの有線LANポートを1対1で直結してください。ハブを経由しての接続には対応しておりません。また、本製品を使用する場合も必ず本製品と無線化する機器の有線LANポートを1対1で直結してください。



●無線LAN経由での設定はできません

お使いの環境によっては無線LAN経由では本製品の設定ユーティリティの画面が開かない場合があります。本製品の設定は、必ず本製品の有線LANポートに直接接続したWindowsマシンからおこなってください。

設定に必要な機器を用意する

設定には本製品と付属のLANケーブル以外にWindowsマシンが1台必要です。用意するWindowsマシンの条件は以下のとおりです。設定用コンピュータを用意したら、次の「設定用コンピュータの環境を設定する」へ進んでください。

●本製品とLANケーブル

本製品と付属のLANケーブルを用意します。

●Windowsマシン

コンピュータ 本体	10BASE-Tまたは100BASE-TXに対応した有線LANポート を持つ機種 ※機種はノートタイプでもデスクトップタイプでもかまいません。
Webブラウザ ソフト※	Microsoft Internet Explorer 5.5以上がインストールされている環境 <u>バージョンが5.5よりも古い場合はバージョンアップをお願いしてください。</u>

※上記以外のバージョンおよび他のWebブラウザでは正常に表示できなかったり、設定を保存できない場合があります。動作保証はしておりません。

MEMO ●設定後に本製品を実際に使用する機器がWindowsマシンの場合
設定後に本製品を接続して実際に使用する機器がWindowsマシンの場合、そのWindowsマシンを設定用コンピュータとしてご使用ください。
また、以下の条件の場合は、ご使用になるWindowsマシンの設定を変更せずに設定用コンピュータとして使用できます。

- ・IPアドレスが手動設定であること
- ・ネットワークアドレスに「192.168.1.xxx」を使用していること
- ・Microsoft Internet Explorer 5.5以上を使用していること

上記の条件を満たしている場合は、P20「設定用コンピュータを接続する」へ進んでください。

設定用コンピュータの環境を設定する

設定用コンピュータのIPアドレスを本製品にアクセス可能な設定に変更します。IPアドレスの設定手順がよくわからない方は、P52「設定用コンピュータの環境を設定する(詳細説明)」に詳しい手順の説明があります。

①設定用コンピュータのIPアドレスなどを調べ、以下の「メモ欄」に記入しておきます(本製品の設定後、この値に戻します)。



Windowsマシン

※設定用コンピュータはノートタイプでもデスクトップタイプでもかまいません。

メモ欄：設定用コンピュータに設定されていた値

IPアドレス ☐手動入力= ☐自動的に取得する
サブネットマスク _____
ゲートウェイ _____

②設定用コンピュータのIPアドレスなどを以下の値に変更します。

IPアドレス	192.168.1.11※
サブネットマスク	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	入力不要※

※設定用コンピュータをそのまま本製品に接続する機器として使用する場合
設定用に使用するWindowsマシンにそのまま本製品を接続し、無線LANで使用する場合は以下の内容をお読みください。

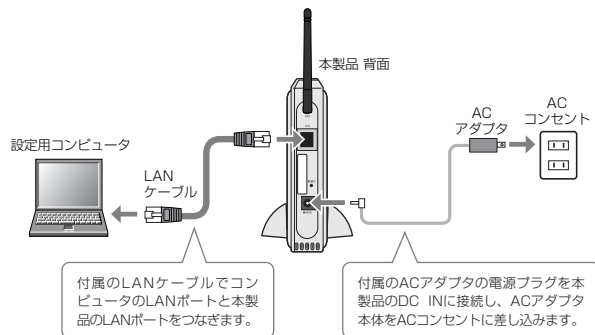
- ・IPアドレスの末尾の「11」は、本製品のIPアドレス(初期値=230)およびご使用になるLAN環境で別の機器が使用しているアドレス以外であれば1～254のいずれの数値を使用してもかまいません。
- ・デフォルトゲートウェイについては、ご使用になっているLAN環境で使用している数値を入力してください。

③このあとは次の「設定用コンピュータを接続する」へ進みます。

設定用コンピュータを接続する

① 本製品に付属の外部アンテナを背面のANT端子に接続します。縦置きで使用する場合は、付属の縦置スタンドを取り付けます。

② 設定用コンピュータを下図のように接続します。



③ 接続が完了したら、次ページ「7.本製品を設定する」へ進みます。

7 本製品を設定する

設定@Howto

本製品を設定するコンピュータ(Windowsマシン)の準備ができれば、設定ユーティリティを表示して、必要な設定をおこないます。

設定ユーティリティを表示する

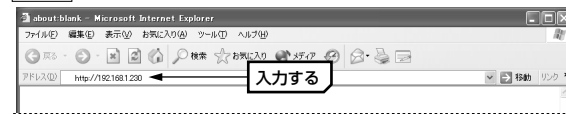
Microsoft Internet Explorer(バージョン5.5以上)を使って本製品の設定ユーティリティを表示します。ここでは初めて設定ユーティリティに接続するときの手順を説明しています。本製品のIPアドレスやユーザ名、パスワードを変更した場合は、設定内容に合わせて操作してください。



本製品の設定ユーティリティは、Windowsマシン上でMicrosoft Internet Explorer バージョン5.5以上を使用したときに正常に表示されます。他のWebブラウザやWindows以外のコンピュータでは正常に表示できなかったり、設定を保存できない場合があります。

1 設定用コンピュータ(Windowsマシン)でMicrosoft Internet Explorer (バージョン5.5以上)を起動します。

2 アドレス入力欄に「http://192.168.1.230」と入力し、キーボードの **Enter** キーを押します。



- 3** ログイン画面が表示されます。初めてログインする場合はユーザ名に「admin」と入力し、パスワードには何も入力せずに **[OK]** ボタンをクリックします。



管理者以外の人に設定を変更されたくない場合は、本製品が正常に動作していることを確認したあとでユーザ名を変更し、パスワードを設定するようにしてください(→P42参照)。

- 4** 設定ユーティリティの画面が表示されます。本製品を設定するには、次の「接続先を選択する」へ進みます。



設定ユーティリティの操作を一定時間しなかった場合、ログイン画面が再び表示されます。この場合は、手順 **3** と同じようにユーザ名とパスワード(設定時)を入力してください。

接続先を選択する

本製品の接続先を指定します。接続先になるアクセスポイントまたは無線クライアントを起動し、無線LANで接続できる状態にしておいてください。



APステルス機能をご使用の場合

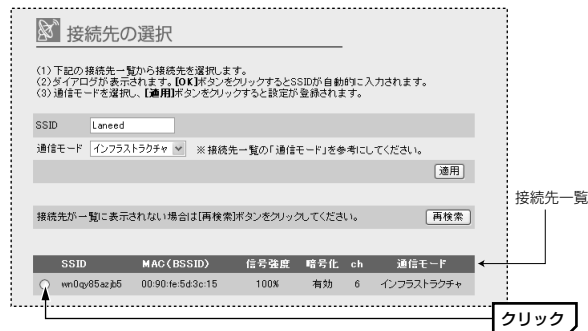
弊社のアクセスポイントに搭載されている「APステルス機能」または他社製品の同様の機能を有効にしている場合は、一覧にSSIDが表示されないため接続先を自動で登録することはできません。その場合は手動でSSIDを入力する必要があります。

アドホック・モードをご使用の場合

アクセスポイントを使用せず、無線LANアダプタに接続するアドホック・モードをご使用の場合は、必ず接続先になる無線LANアダプタを取り付けたコンピュータを起動し、無線LANで接続できる状態にしておいてください。また、アドホック・モードでの接続はIEEE802.11b(11Mbps)になります。

- 1** 設定ユーティリティのメニューにある **接続先を選択** ボタンをクリックします。

- 2** 接続先一覧に接続可能な接続先が表示されますので、接続先の  をクリックします。



MEMO

接続先一覧に何も表示されないとき

接続先のアクセスポイントまたは無線クライアントの電源が入っていることを確認してから、**[再検索]** ボタンをクリックします。電波状況によっては一度では表示されない場合がありますので、その場合はもう一度 **[再検索]** ボタンをクリックしてみてください。

接続先一覧にSSIDだけが表示されないとき

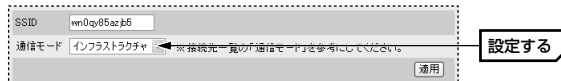
弊社のアクセスポイントに搭載されている「APステルス機能」または他社製品の同様の機能が有効になっています。この場合は、ご使用の無線LANに設定されているSSIDを[SSID]項目に手動で入力し、手順 **4** へ進んでください。なお、SSIDは大文字と小文字が区別されますので注意してください。

- 3** 接続先のSSIDを自動入力するか確認のメッセージが表示されますので、**[OK]** ボタンをクリックします。



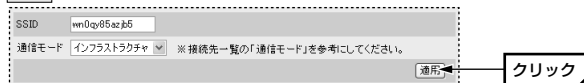
・ [SSID]に接続先のSSIDが自動的に入力されます。

- 4** [通信モード]を接続先の通信モードに合わせます。初期値は「インフラストラクチャ・モード」になっています。

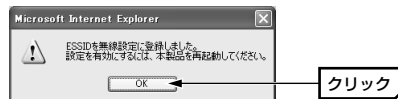


・ 接続先の通信モードは接続先一覧の[通信モード]で確認できます。

- 5** **[適用]** ボタンをクリックします。

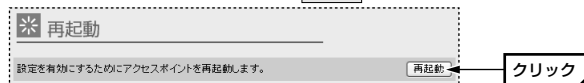


- 6** 本製品を再起動するようにメッセージが表示されますので **[OK]** ボタンをクリックします。

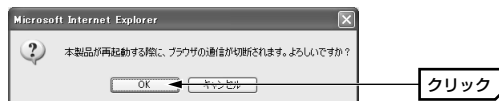


- 7** 設定ユーティリティのメニューにある **[再起動]** ボタンをクリックします。

- 8** <再起動> 画面が表示されますので、**[再起動]** ボタンをクリックします。



- 9** 通信が中断することを確認するメッセージが表示されますので、**[OK]** ボタンをクリックします。



- 10** 再起動が終わると、ログイン画面が表示されます。ユーザ名とパスワードを入力し、**OK** ボタンをクリックします。



- ・初期値の場合は、ユーザ名には「admin」と入力し、パスワードには何も入力しないでください。
- ・ログインすると〈システム状態〉画面が表示されます。

- 11** これで無線LANの接続先が設定できました。
この後は、ご使用の無線LANがセキュリティ機能(WEPまたはWPA-PSK)を設定しているかどうかに応じて該当するページへ進んでください。

●セキュリティ機能を設定している場合

→次ページ「8.セキュリティ機能を設定する」へ進みます。

●セキュリティ機能を設定していない場合

→P33「9.本製品を接続する」へ進みます。

MEMO

これで設定用コンピュータの環境が不要になる場合

設定用コンピュータとして使用するためIPアドレスなどを変更した場合は、P19「設定用コンピュータの環境を設定する」にメモした設定値に戻します。以下の手順で元の環境に戻してください。

①設定を元に戻します。→②コンピュータの電源を切った状態で元のLAN環境に接続します。→③コンピュータの電源を入れてWindowsを起動します。

8 セキュリティ機能を設定する

本製品はセキュリティ機能としてWEP(64/128/152ビット)とWPA-PSKに対応しています。接続する無線LANにこれらのセキュリティ機能を設定している場合は、本製品にも同じ機能を設定してください。

- ・ WEPを使用している場合→このあとの説明へ
- ・ WPA-PSKを使用している場合→P31「WPA-PSKを設定する」へ

WEPを設定する

WEP (Wired Equivalent Privacy)を使って無線LANの通信データを暗号化します。暗号化のキーサイズ(ビット数)は64/128/152ビットから選択できます。また、設定は11bと11gで共通になります。P16「5.事前にお調べください」で、ご使用になる無線LANの設定を調べておいた方は、その情報を参照しながら同じように設定してください。

MEMO

設定を始める前に

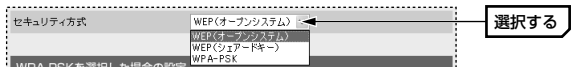
ご使用になる無線LANに設定されている暗号化の情報を調べていない場合は、P16「5.事前にお調べください」をお読みになり、あらかじめ調べておいてください。

- 1** 設定ユーティリティのメニューにある **セキュリティ設定** ボタンをクリックします。

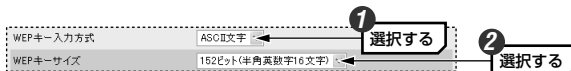
- ・ 〈セキュリティ設定〉画面が表示されます。

MEMO

本製品の設定ユーティリティを表示する方法については、P21「設定ユーティリティを表示する」をお読みください。

2 [セキュリティ方式]を選択します。

・WEPにはオープンシステムとシェアードキーの2種類の認証方式があります。ご使用になる無線LANで設定されているのと同じ認証方式を選択してください。

3 [WEPを選択した場合の設定]にある[WEP]を「有効」にします。ただし、「シェアードキー」を選択している場合は自動的に有効になります。**4** [WEPキー入力方式]と[WEPキーサイズ]を、ご使用になる無線LANと同じ内容に設定します。**●WEPキー入力方式**

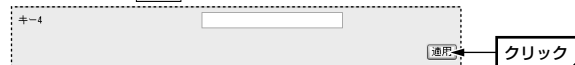
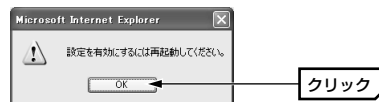
ASCII文字	WEPキーに半角英数字を使用します。空白文字や記号などの特殊文字は使用できません。入力する文字数は、64ビット→5文字、128ビット→13文字、152ビット→16文字です。大文字と小文字が区別されます。
16進数	16進数は、半角英数字のa～fと0～9の組み合わせです。64ビット→10桁、128ビット→26桁、152ビット→32桁の文字を入力します。大文字と小文字は区別されません。

●WEPキーサイズ

データを暗号化するビット数を指定します。ビット数が多いほど暗号強度が強くなります。

5 [使用するキー番号]で、ご使用になる無線LANと同じキー番号を選択し、そのキー番号のWEPキーを入力します。

・[使用するキー番号]で選択したキー番号以外にも同時に入力できます。ただし、選択したキー番号に入力されていないとエラーになります。

6 設定が終われば **適用** ボタンをクリックします。**7** 再起動するようにメッセージが表示されますので **OK** ボタンをクリックします。**8** 以下の手順で本製品を再起動します。より詳しい手順についてはP45「再起動」をお読みください。

- ①設定ユーティリティのメニューにある **再起動** ボタンをクリックします。
- ②通信が中断することを確認するメッセージが表示されますので、**OK** ボタンをクリックします。
- ③ログイン画面が表示されますので、ユーザ名とパスワードを入力し、**OK** ボタンをクリックします。これで再起動は完了です。

9 これでは本製品でのWEPの設定は完了です。

はじめて本製品の設定をした場合は、このあとP33「9. 本製品を接続する」に進み、ご使用になる機器に接続してください。

MEMO

これで設定用コンピュータの環境が不要になる場合

設定用コンピュータとして使用するためIPアドレスなどを変更した場合は、P19「設定用コンピュータの環境を設定する」にメモした設定値に戻します。以下の手順で元の環境に戻してください。

①設定を元に戻します。→②コンピュータの電源を切った状態で元のLAN環境に接続します。→③コンピュータの電源を入れてWindowsを起動します。

WPA-PSKを設定する

WPA-PSKは小規模なネットワークでも安全度の高いセキュリティを簡単に実現できます。P16「5. 事前にお調べください」で、ご使用になる無線LANの設定を調べておいた方は、その情報を参照しながら同じように設定してください。

MEMO

設定を始める前に

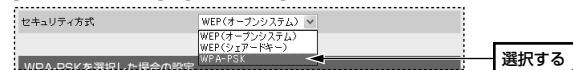
ご使用になる無線LANに設定されている暗号化の情報を調べていない場合は、P16「5. 事前にお調べください」をお読みになり、あらかじめ調べてください。

- 1 設定ユーティリティのメニューにある **"セキュリティ設定"** ボタンをクリックします。

MEMO

本製品の設定ユーティリティを表示する方法については、P21「設定ユーティリティを表示する」をお読みください。

- 2 [セキュリティ方式]で[WPA-PSK]を選択します。



- 3 [事前共有キー]に、ご使用になる無線LANの設定と同じ文字列(8~63文字の半角英数字)を入力します。大文字と小文字は区別されます。

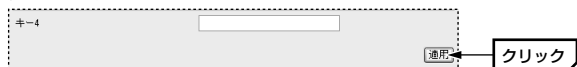


- 4 [暗号化方式]は「TKIP」固定で変更できませんので、そのまま手順5へ進みます。

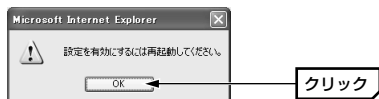


※本製品は「AES」はサポートしていません。

- 5 設定が終われば、〈セキュリティ設定〉画面下方にある **適用** ボタンをクリックします。



- 6 再起動するようにメッセージが表示されますので **OK** ボタンをクリックします。



- 7 以下の手順で再起動します。より詳しい手順についてはP45「再起動」をお読みください。

- ①設定ユーティリティのメニューにある **再起動** ボタンをクリックします。
- ②通信が中断することを確認するメッセージが表示されますので、**OK** ボタンをクリックします。
- ③ログイン画面が表示されますので、ユーザ名とパスワードを入力し、**OK** ボタンをクリックします。これで再起動は完了です。

- 8 これで本製品でのWPA-PSKの設定は完了です。

はじめて本製品を設定した場合は、このあと次ページ「9. 本製品を接続する」に進み、ご使用になる機器に接続してください。



これで設定用コンピュータの環境が不要になる場合
設定用コンピュータとして使用するためIPアドレスなどを変更した場合は、P19「設定用コンピュータの環境を設定する」にメモした設定値に戻します。以下の手順で元の環境に戻してください。

①設定を元に戻します。→②コンピュータの電源を切った状態で元のLAN環境に接続します。→③コンピュータの電源を入れてWindowsを起動します。

9 本製品を接続する

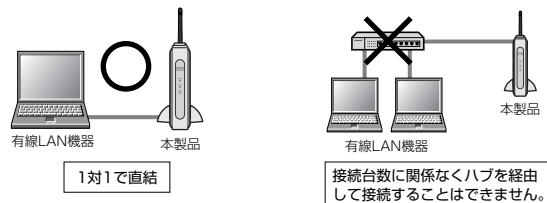
Part 4 How to

設定が終われば本製品と有線LAN機器を接続します。接続作業を始める前にこのあとの「本製品を接続する前に」を必ずお読みください。

本製品を接続する前に

●本製品と有線LAN機器は1対1で直結してください

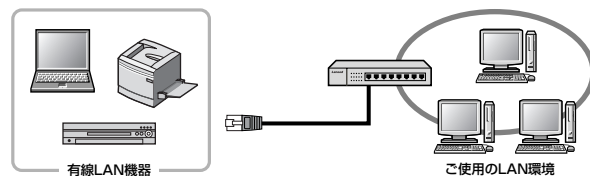
本製品を使用する場合、必ず本製品と無線化する有線LAN機器の有線LANポートを1対1で直結してください。ハブを経由しての接続には対応しておりません。



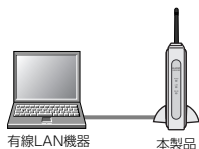
●無線化する有線LAN機器の動作を確認しておください

無線化する有線LAN機器を本製品に接続する前に、ご使用になるLAN環境に有線LAN機器を接続して、正常に動作することを確認しておくことをお勧めします。事前に有線LAN機器が正常に動作することを確認しておくことで、本製品を接続したあとで正常に動作しない場合、本製品側の設定に問題があることがわかります。

- ①ご使用になるLAN環境に有線LAN機器を有線で接続して動作を確認します。



②動作を確認したら本製品と有線LAN機器を直結します。



有線LANポート搭載のコンピュータに
本製品を接続して無線化する場合の例

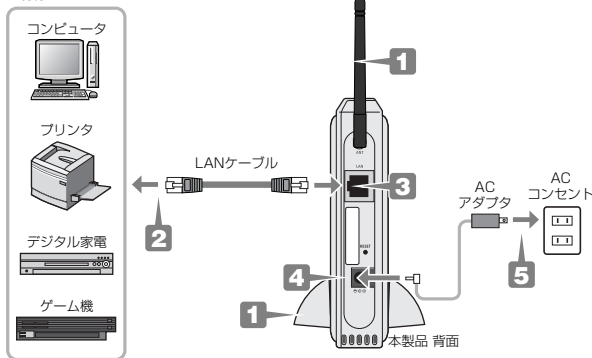
本製品を接続する

設定ユーティリティで本製品の設定が終わったら、本製品と設定用コンピュータを接続していたLANケーブルと、ACアダプタを取りはずしてください。次に、以下の手順にしたがって、本製品を使用する機器に接続してください。



●すべての機器の電源を切った状態で作業をおこなってください

各機器の
有線LANポート



1 外部アンテナが未装着の場合は背面のANT端子に接続します。縦置きで使用する場合は、付属の縦置スタンドを取り付けます。

2 本製品を接続する機器の有線LANポートにLANケーブルを接続します。

3 LANケーブルのもう一方を本製品のLANポートに接続します。本製品はAUTO-MDIX対応なのでクロスストレート接続を考慮する必要はありません。

4 付属のACアダプタの電源プラグを本製品のDC INに差し込みます。

5 ACアダプタ本体をACコンセントに差し込みます。

MEMO 壁に掛けて設置するとき

P13「各部の名称とはたらき」の「右側面」の説明を参考に、本製品の側面にある2カ所の取り付け穴にネジを引っ掛けて固定します。

※ネジが抜け落ちて本製品が落下しないようにしっかりと固定してください。

無線LANにアクセスできるかを確認する

本製品を接続した機器から他の有線または無線LAN機器にアクセスするか、有線または無線クライアントから本製品を接続した機器にアクセスします。アクセスポイントなど接続相手の電源を先に入れた状態で、本製品と本製品を接続機器の電源を入れてください。接続相手に正常にアクセスできれば無線LANでの接続は完了です。

無線LANにアクセスできることを確認したあとは、もう一度P14「4. 本製品を使用するにあたって」をお読みください。

MEMO アクセスできなかったとき

- ① 接続した有線LAN機器の電源を入れ直してからアクセスしてみてください。
- ② ①の操作をしてもだめな場合は、本製品の電源を入れ直し、Powerランプが点滅から点灯に変わった後、接続した有線LAN機器の電源を入れ直してからアクセスしてみてください。
- ③ ①②の操作をしてもだめな場合は、P47「11.こんなときは」をお読みください。

本製品を接続した機器のIPアドレスについて

本製品を接続した機器にIPアドレスを使って他のクライアントからアクセスする場合は、本製品のIPアドレス(初期値=192.168.1.230)ではなく、**本製品を接続した機器に割り当てられているIPアドレス**でアクセスします。詳しくはP15「●本製品と本製品を接続する有線LAN機器のIPアドレスについて」をお読みください。

10 設定ユーティリティのリファレンス



●設定時は必ず本製品とWindowsマシンを1対1で直結してください
本製品を設定ユーティリティにアクセスする場合、必ず設定用コンピュータ(→P14)の有線LANと本製品を1対1で直結してください。また、ハブを経由しての接続には対応しておりません。

●無線LAN経由での設定について

お使いの環境によっては無線LAN経由では本製品の設定ユーティリティの画面が開かない場合があります。本製品の設定は、必ず本製品の有線LANポートに直接接続したWindowsマシンからおこなってください。

管理者用メインメニューの項目

設定ユーティリティの画面左には、本製品の機能を設定するための「管理者用メインメニュー」があります。メニューの各項目には次のような機能があります。

項 目	内 容
システム状態	本製品の現在の設定状態を一覧で表示します。設定ユーティリティを起動すると最初に表示されます。→P41
接続先の選択	本製品の電波の届く範囲にあるアクセスポイントおよび無線クライアントを一覧で表示します。一覧の中から接続先を選択すると自動的にSSIDを登録することができます。→P23
無線LAN設定	本製品の基本機能を設定します。SSIDをはじめ、各種オプション機能を設定できます。→P37
セキュリティ設定	不正アクセスやデータの盗聴・解析を防ぐためのセキュリティ機能を設定できます。→P27
IPアドレス設定	本製品のIPアドレスなどを設定します。本製品をDHCPサーバのクライアントとして設定することができます。→P39
パスワードの変更	設定ユーティリティを起動したときに表示されるログイン画面のユーザ名とパスワードを設定します。→P42

項 目	内 容
設定の初期化	本製品の設定値を工場出荷時の状態に戻すことができます。→P43
ファームウェア更新	本製品のファームウェアを更新します。ファームウェアを更新することで新しい機能が追加されたり、動作が安定したりします。→P44
再起動	本製品を再起動します。設定ユーティリティの設定項目によっては、設定の変更後に再起動が必要です。この場合、新しい設定は再起動後に有効になります。→P45

無線LAN設定

無線LANに関する設定をします。設定は11bと11gで共通です。

無線LAN設定

設定する無線LAN規格 IEEE802.11g ▼

SSID Lamed

通信モード インフラストラクチャ ▼

チャンネル 6 ▼

伝送速度 Auto ▼

スリープモード 無効 ▼

送信出力強度 最大 ▼

保存

MEMO

●設定画面の表示

設定ユーティリティのメニューにある **無線LAN設定** ボタンをクリックします。

●設定の保存について

設定を変更した場合は **保存** ボタンをクリックします。「設定を有効にするには再起動してください」と表示されたら、**OK** ボタンをクリックします。その後、P45「再起動」を参照して、本製品を再起動してください。

●SSID

ご使用の無線LANに設定しているSSIDを入力します。〈接続先選択〉画面でSSIDを設定した場合は、自動的にこの項目にも反映されています。SSIDは11bと11gで共通です。入力できる文字は32文字以内の半角英数字で、大文字と小文字が区別されます。

●通信モード

アクセスポイントと接続する場合は「インフラストラクチャ」を、本製品を取り付けたコンピュータと接続する場合は「アドホック」を選択します。アドホック・モードの場合、本製品で使用できるのは11b(11Mbps)による通信だけになります。

※アドホック・モードでは本製品同士での接続のみサポートします。

●チャンネル

アドホック・モードで使用する場合に、使用しているチャンネルを13チャンネルの中から選択します。設定を変更した場合は必ず本製品の電源を入れ直してください。電源を入れ直さないとチャンネルが変更されないときがあります。

●伝送速度

伝送速度を選択します。通常は[Auto]に設定しておけば、信号強度に合わせた自動的に伝送速度が調整されます。信号強度が強い場合は高速に、弱い場合は低速になります。通信距離よりも通信速度を優先したい場合などは速度を固定することもできます。速度を固定した場合は、通信速度が維持できないほど信号強度が低下すると通信できなくなります。また、[AUTO]以外の速度を設定した場合は「スーパーGモード」を有効にすることはできません。
※環境によっては速度を固定した場合、通信速度が低下することがあります。

●スーパーGモード

本製品ではIEEE802.11g規格で通信する場合に「スーパーGモード」を使用することができます。従来よりも高速転送が可能な「バースト転送」を採用し、さらにデータを圧縮することでスループットを大幅に向上することができます。同モードに対応する弊社製無線LAN製品をご使用の場合、スーパーGモードを有効にすることで高速転送を実現できます。本製品の初期値ではスーパーGモードは無効になっています。

※スーパーGモードが有効の環境でも、本製品の設定を無効にして通常速度で使用することもできます。

●送信出力強度

電波の送信出力の強度を5段階で調整することができます。狭い場所で使用している場合などは、出力強度を下げることで電波の到達範囲が不用意に広がるのを防ぐことができます。

IPアドレス設定

本製品のIPアドレスを設定します。DHCPサーバ機能を使用しているLAN環境に本製品を接続している場合は、「自動取得」に設定することでDHCPサーバから自動的にIPアドレスなどを取得することができます。



IPアドレス設定	
MACアドレス	00:05:5d:97:b7:84
IPアドレス設定方法	手動入力
IPアドレス	192.168.1.230
サブネットマスク	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	192.168.1.254
適用	

MEMO ●設定画面の表示

画面左のメニューにある **IPアドレス設定** ボタンをクリックします。

●設定の保存について

- ①設定を変更した場合は **適用** ボタンをクリックします。
- ②確認メッセージが表示されますので、**OK** ボタンをクリックします。
- ③本製品を再起動します(→P45)。

※変更内容は再起動後に有効になります。



●IPアドレスを変更した場合

通常は再起動後、自動的に新しいIPアドレスで設定画面が表示されますが、例えば「192.168.1.11」から「192.168.0.11」のようにIPアドレスを変更した場合、再起動すると設定用コンピュータと本製品のネットワークアドレスが異なってしまうため、設定ユーティリティにアクセスできなくなります。設定用コンピュータのIPアドレスを変更してから、設定ユーティリティにアクセスしてください。

●同じLAN上に本製品が複数台ある場合

必ずそれぞれに異なるIPアドレスを割り当ててください。

MACアドレス	本製品のMACアドレスが表示されます。
IPアドレス設定方法	本製品のIPアドレスの設定方法を選択します。 手動設定…本製品のIPアドレスを手動で設定します。本製品のIPアドレスは固定になります。初期値は「192.168.1.230」です。 自動取得…DHCPサーバから本製品のIPアドレスを自動的に取得します。
IPアドレス	手動設定の場合に、本製品のIPアドレスを入力します。
サブネットマスク/ デフォルトゲートウェイ	手動設定の場合、ご使用のネットワークのサブネットマスクとデフォルトゲートウェイを入力します。



●本製品のIPアドレスが使用中のネットワークアドレスと異なる場合

使用しているLAN環境のネットワークアドレスが本製品のIPアドレスと異なっている場合、本製品の設定ユーティリティに接続することはできません。ただし、本製品を接続した機器を無線LANで接続することについては問題なく使用できます。

●IPアドレスの自動取得について

[IPアドレス]を「自動取得」に設定した場合、本製品のIPアドレスが変わる可能性があります。本製品にDHCPサーバより割り当てられたIPアドレスは、通常はDHCPサーバの設定画面上で本製品のMACアドレスにより確認することができます(操作方法については、DHCPサーバの取扱説明書を参照してください)。しかし、この方法で確認できない場合は、本製品のIPアドレスを知ることができます。本製品の設定ユーティリティが表示できなくなります。したがって、本製品のIPアドレスは手動で設定するか、DHCPサーバ機能の設定を使って本製品のIPアドレスが固定されるように設定することをお勧めします。

システム状態

本製品の現在の設定や接続状態、ファームウェアのバージョンなどを確認できます。設定ユーティリティを起動すると必ず最初にこの画面が表示されます。

システム状態

状態を表示する無線LAN規格

IEEE802.11b/g

SSID	wn0qy85azjb5
接続状態	接続
チャンネル	6
セキュリティ	WEP(オープンシステム)
IPアドレス設定	手動入力
IPアドレス	192.168.1.230
サブネットマスク	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	192.168.1.254
MACアドレス	00:05:5d:97:b7:84
ファームウェアバージョン	V1.00 rc298



画面の表示

設定ユーティリティのメニューにある **システム状態** ボタンをクリックします。



アドホック・モード時には接続状態にない場合でも、[接続状態]に「接続」と表示されます。これはアドホック・モード時には仮想的なMACアドレスをもつ仮想的な機器に、それぞれの無線クライアントが接続するという仕様であるためです。

パスワードの変更

設定ユーティリティを起動したときに表示されるログイン画面のユーザ名とパスワードの設定を変更することができます。不特定多数の人が利用するような環境では、第三者に設定を変更されないように、パスワードを設定しておいてください。

MEMO 設定画面の表示

画面左のメニューにある **パスワードの変更** ボタンをクリックします。

● 設定の手順

- ① ユーザ名を変更する場合は、[ユーザ名]にユーザ名を入力します。半角英数字12文字まで入力できます。
- ② パスワードを新しく設定する場合または変更する場合は、[パスワード]にパスワードを入力します。半角英数字12文字まで入力できます。
- ③ [パスワードの再入力]にもう一度同じパスワードを入力します。
- ④ **設定** ボタンをクリックします。
- ⑤ 次に何らかの操作をすると、ログイン画面が表示されますので、設定したユーザ名とパスワードを入力し、**OK** ボタンをクリックします。

注意 ユーザ名とパスワードは大文字と小文字が区別されます。ここで設定したユーザ名とパスワードは大文字、小文字まで正しく覚えておいてください。

設定の初期化

本製品の設定値を初期値(工場出荷時の状態)に戻します。設定ユーティリティが表示できない場合は、本体背面のリセットボタンを使用して初期化することができます。リセットボタンによる初期化についてはP12のMEMOをお読みください。

- 1 画面左のメニューにある **設定の初期化** ボタンをクリックします。

- 2 <設定の初期化> 画面が表示されます。 **実行** ボタンをクリックします。

- 3 再起動を確認する画面が表示されますので、**OK** ボタンをクリックします。

- 4 再起中であることを示す画面が表示されます。再起動が完了すると、ログイン画面が表示されますので、ユーザ名とパスワードを入力し、**OK** ボタンをクリックします。

- 5 これで本製品が初期化されました。

ファームウェア更新

ファームウェアを更新することで本製品の機能が向上したり、動作が安定したりします。最新のファームウェアおよび詳しい更新の手順については弊社ホームページ(<http://www.elecom.co.jp/>)のサポートページをご覧ください。

MEMO 現在のファームウェアのバージョンを知るには
〈システム状態〉画面の[ファームウェアバージョン]を確認してください(→P41)。

- 1 [ファイル名]にダウンロード等で入手した最新ファームウェアのファイル名を入力します。

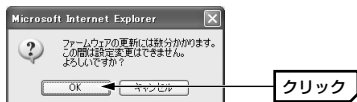


MEMO 参照 ボタンをクリックすると〈ファイルの選択〉画面からファイルを選択することができます。

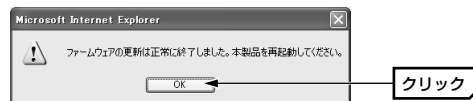
- 2 開始 ボタンをクリックします。



- 3 ファームウェアの更新を確認するメッセージが表示されます。[OK] ボタンをクリックすると更新が始まります。



- 4 しばらくして更新が完了すると、再起動を確認する画面が表示されますので、以下の手順で再起動します。より詳しい手順についてはこのページの「再起動」をお読みください。



- ① 上記の画面で [OK] ボタンをクリックします。
- ② 〈再起動〉画面が表示されますので、[再起動] ボタンをクリックします。
- ③ 再起動を確認するメッセージが表示されますので、[OK] ボタンをクリックします。
- ④ 再起動中の画面が表示されます。
- ④ 再起動が完了するとログイン画面が表示されますので、ユーザ名とパスワードを入力し、[OK] ボタンをクリックします。これで再起動は完了です。

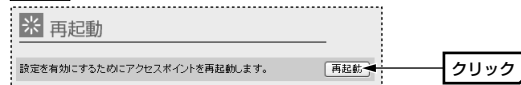
- 5 これでファームウェアの更新は完了です。

再起動

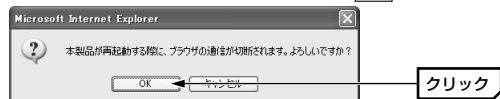
設定ユーティリティにある各項目の設定を変更した場合、設定を保存したあとに本製品を再起動する必要があります。再起動中は一時的に接続が中断されますのでご注意ください。また、設定ユーティリティが表示できない場合は、本製品の電源を入れ直すことにより再起動できます。

- 1 画面左のメニューにある [再起動] ボタンをクリックします。

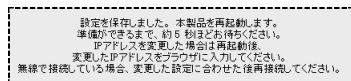
- 2 [再起動] ボタンをクリックします。



- 3** 再起動を確認する画面が表示されますので、**OK** ボタンをクリックします。



- 4** 再起動中の画面が表示されます。



- 5** 再起動が完了するとログイン画面が表示されますので、ユーザ名とパスワードを入力し、**OK** ボタンをクリックします。



※初期値の場合は[ユーザ名]に「admin」と入力し、[パスワード]には何も入力せずに**OK** ボタンをクリックします。

- 6** これで再起動は完了です。

11 こんなときは

Power@Home

■本製品の設定ユーティリティにアクセスできない

●設定用コンピュータ(→P17)を用意しましたか？

➡本製品を設定するには、あらかじめ準備したWindowsマシンの有線LANポートと本製品を1対1で直結する必要があります。ハブを経由して本製品を接続することはできません。また、無線LAN経由での設定もできません。

➡本製品を設定するには、Windowsマシンが必要です。Macintosh等のWindows以外のコンピュータから設定することはできません。

※設定完了後に無線化する機器としてMacintosh等のコンピュータを使用することはできます。

➡Microsoft Internet Explorerのバージョンが5.5以上になっている必要があります。それ以前のバージョンをご使用の場合、バージョンアップしてください。

●設定用コンピュータのIPアドレス設定は正しいですか？

➡本製品のIPアドレス(初期値=192.168.1.230)にアクセスできるように設定用コンピュータのネットワークアドレスを正しく設定してください。

●IPアドレスなどの設定を変更した後に、変更前のアドレスで設定ユーティリティを起動しようとしていませんか？

➡IPアドレスを変更した場合はブラウザの[更新]ボタンをクリックしても設定ユーティリティには接続できません。Webブラウザの[アドレス]に新しいアドレスを入力して起動してください。ネットワークアドレスを変更した場合は、変更後のネットワークアドレスでネットワークを構築してください。

■設定ユーティリティでの設定は完了したが無線LANで接続できない**●本製品と有線LAN機器を1対1で直結していますか？**

➡本製品はハブを経由して接続することはできません。必ず1対1で直結してください。

●本製品を接続した有線LAN機器はネットワークにつなげる状態ですか？

➡有線LAN機器から本製品をいったん取りはずし、有線LAN機器をLANケーブルを使って有線でネットワークに接続し、有線LAN機器自体が正常にネットワークにアクセスできるかを確認してください。正常にアクセスできた場合は、次の説明をお読みになり、設定値を確認してください。

●本製品の設定値と無線LANの設定値に違いはありませんか？

➡本製品と無線LANで接続された機器の設定が同じ設定値になっていることを確認してください。特に以下の点に注意してください。

- ・SSIDとWEPキー、WPA-PSKの事前共有キーについては大文字と小文字が区別されます。
- ・WEPの認証方式、暗号化ビット数、WEPキー入力方式、WEPキーサイズ、キー番号、WEPキーのすべてが同じ設定になっている必要があります。

※IPアドレスは同じ設定にしないでください。

■設定用コンピュータがLANに接続できなくなった**●設定完了後に、設定用コンピュータのIPアドレスなどを変更前の内容に戻しましたか？**

➡設定用のIPアドレスのままになっているとLANに接続できない場合があります。必ず、元の設定値に戻してください。

■本製品やアクセスポイントの設定を変更したら接続できなくなった**●本製品とアクセスポイントの両方で同じ設定値に変更しましたか？**

➡SSID、セキュリティ設定などを変更した場合は、本製品とアクセスポイントの両方を同じ設定値に変更していないと接続できません。

●セキュリティ設定は正しいですか？

➡本製品とアクセスポイントのセキュリティ設定が異なっている可能性があります。設定を確認してください。

■その他のトラブル**●本製品をコンピュータやプリンタに接続して使用している場合、アクセスポイント⇔本製品は正常に動作しているがサービスなどが利用できない。**

➡実際に使用中のネットワークが利用しているプロトコル(TCP/IPなど)、クライアント(Microsoft Networkクライアントなど)、サービス(Microsoft Network共有サービス等)などのネットワーク設定を無線クライアントにも設定する必要があります。

●セキュリティなどの設定を忘れてしまった。

➡セキュリティ設定の内容を忘れた場合は新しくセキュリティ設定をやり直してください。設定を忘れたために設定ユーティリティに接続できない場合は本製品をリセットボタンで初期化し、工場出荷時の状態に戻す必要があります(→P12)。

12 設定に役立つ補足説明

パソコン@Home

本製品を設定するには「IPアドレス」について知識があると便利です。ここではIPアドレスに関する基本説明と設定用コンピュータのIPアドレスを設定するための詳しい手順を説明しています。必要に応じてご利用ください。

IPアドレスについて

インターネットプロトコル(TCP/IPプロトコル)では、ネットワーク上の各コンピュータを識別するために「IPアドレス」を使用します。IPアドレスは住宅の住所のようなものです。郵便物が住所によって正しく配達されるのと同じように、ネットワーク上のデータはIPアドレスによって正しく相手のコンピュータに届くようになっています。IPアドレスを表す数値は4つのブロックに区切られています。

例として、サブネットマスクが「255.255.255.0」の場合、同一ネットワークに存在するすべてのネットワーク機器は、上位3ブロック(=ネットワークアドレス)を同じ数値に設定します。4ブロック目だけはネットワーク機器ごとに異なる数値に設定します。住所で言えば上位3ブロックが同じ町内を表し、4ブロック目が番地にあたります。同じ番地が複数あると郵便物が正しく配達されないのと同じように、ネットワークでも同じIPアドレスが複数あると正常に通信できなくなります。

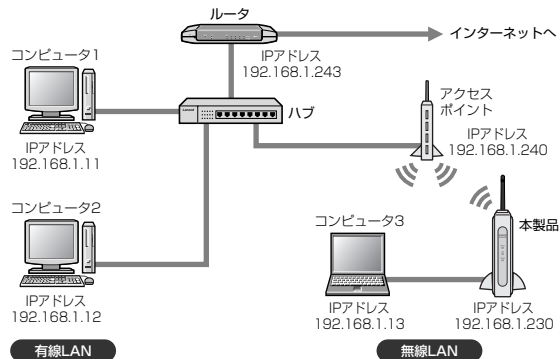
192.168.1.11

ネットワークアドレス

LANのグループを示す数字です。小規模ネットワークの場合、3ブロック目の「1」の数値がネットワークによって異なります。

同一ネットワーク上のネットワーク機器を識別する数値です

◆小規模ネットワークの構成例



上図のように、ひとつのネットワーク上に存在するネットワーク機器はすべてIPアドレスの上位3ブロックが同じで、4ブロック目だけがそれぞれ異なる数値になります。

●本製品のIPアドレスについて

無線LANで本製品とアクセスポイントが通信するときには、他の機器のIPアドレスと重複しなければ、どのようなIPアドレスが設定されていてもかまいません。しかし、本製品の設定をするときは、コンピュータから本製品のIPアドレス(初期値: 192.168.1.230)を入力し、本製品の設定ユーティリティに接続する必要があります。したがって、本製品の設定をするには、本製品のIPアドレスと同じネットワークアドレスをもつネットワーク環境が必要です。以下の点に注意して本製品の設定ユーティリティに接続できる環境を用意してください。

- ・本製品の設定ユーティリティに接続するには、実際に使用中のネットワークのネットワークアドレスが本製品のIPアドレスに対応しており、本製品と同じIPアドレスを持つネットワーク機器が他に存在しない環境が必要です。
- ・本製品の設定が初期値(工場出荷時の設定)の場合、IPアドレスを「192.168.1.11」などに設定した設定用コンピュータ(Windowsマシン)を用意し、本製品と直結して設定ユーティリティに接続します。

設定用コンピュータの環境を設定する(詳細説明)

設定用コンピュータのIPアドレスの設定に関して、Windows XP/Me/98/2000での詳しい設定手順を説明します。P19「設定用コンピュータの環境を設定する」の説明では設定方法がわからない場合にご利用ください。

- ・ Windows XP/2000をご使用の場合
→このあとの「Windows XP/2000での設定方法」へ
- ・ Windows Me/98をご使用の場合
→P56「Windows Me/98での設定方法」へ

Windows XP/2000での設定方法

説明の画面例はWindows XPを使用していますがWindows 2000でも操作手順は同じです。

- 1 ローカルエリア接続のプロパティを表示します。Windows XPとWindows 2000で表示方法が異なります。

●Windows XPの場合

※複数のユーザーアカウントを使用している場合は、「コンピュータ管理者」権限があるユーザーアカウントでログインしてください。

- ①[スタート]→[コントロールパネル]を選択します。
- ② <コントロールパネル> 画面にある[ネットワークとインターネット接続]を選択します。クラシック表示の場合は[ネットワーク接続]アイコンをダブルクリックし、手順 2 へ進みます。
- ③ <ネットワークとインターネット接続> 画面にある「コントロールパネルを選んで実行します」の[ネットワーク接続]を選択します。

●Windows 2000の場合

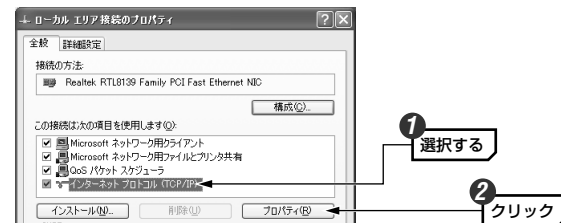
- ①Windows 2000にはAdministrator権限でログインします。
- ②[スタート]→[設定]→[ネットワークとダイヤルアップ接続]を選択します。

- 2 [ローカルエリア接続]のアイコンを右クリックし、メニューの[プロパティ]を選択します。



※[ローカルエリア接続]の名称は、アダプタをインストールした環境によって変わります。

- 3 [インターネットプロトコル(TCP/IP)]を選択し、[プロパティ] ボタンをクリックします。



MEMO [プロパティ]ボタンが選択できない状態の場合
インターネットプロトコル(TCP/IP)を有効(チェック)にします。

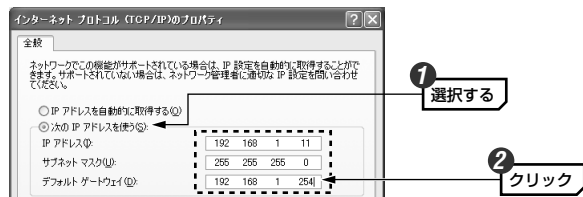
- 4** 本製品の設定後、設定用コンピュータを元のLAN環境に戻す場合は、現在の設定値を確認してメモします。



メモ欄：設定用コンピュータに設定されていた値

IPアドレス ☐ 手動入力= ☐ 自動的に取得する
 サブネットマスク _____
 ゲートウェイ _____

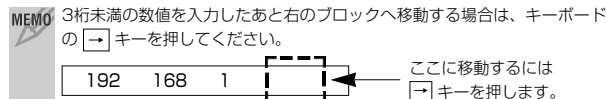
- 5** [次のIPアドレスを使う]を選択し、IPアドレス等の数値を入力します。



IPアドレス	192.168.1.11※
サブネットマスク	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	入力しなくてもかまいません※

※設定用コンピュータをそのまま本製品に接続する機器として使用する場合
 設定用に使用するWindowsマシンにそのまま本製品を接続し、無線LANで使用する場合は以下の内容をお読みください。

- ・IPアドレスの末尾の「11」は、本製品のIPアドレス(初期値=230)およびご使用になるLAN環境で別の機器が使用しているアドレス以外であれば1~254のいずれの数値を使用してもかまいません。
- ・デフォルトゲートウェイについては、ご使用になっているLAN環境で使用している数値を入力してください。



- 6** 入力が終われば、**OK** ボタンをクリックします。



- 7** <ローカルエリア接続のプロパティ> 画面を閉じます。



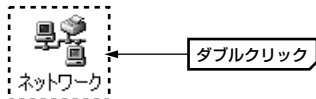
- ・Windows XP では **閉じる** ボタンをクリックします。
- ・Windows 2000 では **OK** ボタンをクリックします。

- 8** これでIPアドレスの設定は完了です。P20「設定用コンピュータを接続する」へ進んで本製品と設定用コンピュータを接続してください。

Windows Me/98での設定方法

説明の画面例はWindows Meを使用していますがWindows 98でも操作手順は同じです。ただし、Windows 98では一部の項目の名称が多少異なることがあります。

- 1 [スタート]→[設定]→[コントロールパネル]を選択します。
- 2 コントロールパネルにある[ネットワーク]アイコンをダブルクリックします。



MEMO Windows Meで一部の機能名が表示されていない場合
この場合は[ネットワーク]アイコンが表示されません。〈コントロールパネル〉画面の左側の説明にある「すべてのコントロールパネルオプションを表示する。」をクリックすると表示されます。

- 3 [TCP/IP]を選択し、[プロパティ] ボタンをクリックします。



※上の画面は画面例です。実際に表示されるコンポーネントの内容とLANアダプタの名称はご使用の環境によって異なりますので画面例と同じではありません。

●TCP/IPの表示について

[TCP/IP]のあとに「-> (アダプタ名)」が表示されている場合は、[TCP/IP -> (実際にご使用のLANアダプタ名)]のほうを選択してください。なお、[ダイヤルアップアダプタ]はモデム/TA用のものでLANアダプタではありません。

画面例は「LD-10/100Sシリーズ」というLANアダプタ(ドライバ)を使用している場合です。実際の画面では、それぞれでご使用のLANアダプタ(ドライバ)名が表示されます。

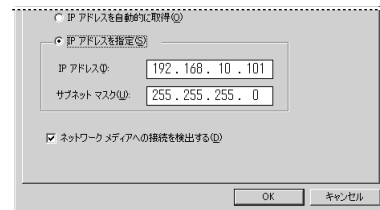


●TCP/IPプロトコルが見えたら場合

次の手順でTCP/IPプロトコルを追加してください。

- ① 〈ネットワーク〉画面にある **[追加]** ボタンをクリックします。
- ② [プロトコル]を選択し、**[追加]** ボタンをクリックします。
- ③ [TCP/IP]を選択し、**[OK]** ボタンをクリックします。

- 4 本製品の設定後、設定用コンピュータを元のLAN環境に戻す場合は、現在の設定値を確認してメモします。



メモ欄：設定用コンピュータに設定されていた値

IPアドレス ☐ 手動入力 = _____ ☐ 自動的に取得する
サブネットマスク _____

5 [次のIPアドレスを使う]を選択し、IPアドレス等の数値を入力します。

IPアドレス	192.168.1.11※
サブネットマスク	255.255.255.0

※設定用コンピュータをそのまま本製品に接続する機器として使用する場合
設定用に使用するWindowsマシンにそのまま本製品を接続し、無線LANで使用する場合は以下の内容をお読みください。

・IPアドレスの末尾の「11」は、本製品のIPアドレス(初期値=230)およびご使用になるLAN環境で別の機器が使用しているアドレス以外であれば1~254のいずれの数値を使用してもかまいません。

MEMO 3桁未満の数値を入力したあと右のブロックへ移動する場合は、キーボードの キーを押してください。

192 168 1 ここに移動するには キーを押します。

6 入力が終われば、**OK** ボタンをクリックします。

7 <ネットワーク> 画面に戻りますので、**OK** ボタンをクリックします。

8 これでIPアドレスの設定は完了です。P20「設定用コンピュータを接続する」へ進んで本製品と設定用コンピュータを接続してください。

13 サポートサービスについて

エレコム ネットワーク製品のサポートサービスについては、下記のラニー
ド・サポートセンターへお電話またはFAXでご連絡ください。サポート情報、
製品情報に関しては、インターネットでも提供しております。

●サポートセンターへお電話される前に

サポートセンターにお電話される前に次の事項を確認してください。

- ・このマニュアルのP47「11.こんなときは」をお読みになりましたか。ま
だ、お読みでない場合は、お電話の前にお読みください。
- ・システムを起動できる場合は、起動した状態でお電話ください。
- ・異常のある製品を取り付けたコンピュータの前から会話が可能場合は、
コンピュータの前からお電話をおかけください。実際に操作しながらチェッ
クできますので、解決しやすくなります。
- ・FAXを送られる場合は、付属の別紙「トラブルシート」に、できるだけ詳
しい内容をご記入ください。

次のことをお調べください。

●ネットワーク構成

使用しているネットワークアダプタ: 使用しているOS:
使用しているコンピュータ本体(メーカーおよび型番):
ネットワークを構成するコンピュータの台数とOSの構成:
ネットワークを構成するその他の関連機器(HUB、ルータ等) :

●具体的な現象について

具体的な現象:
事前にお客様が試みられた事項(あればお伝えください):

●エレコムホームページ <http://www.elecom.co.jp>

●ラニード・サポートセンター

TEL : 0570-057-045 FAX : 0570-057-047

受付時間 : 月～金曜日 9:00～12:00 13:00～18:00
(夏期・年末年始特定休業日、祝祭日は除きます)
※FAXによる受信は24時間おこなっております。

14 基本仕様

規格	有線部	IEEE802.3/IEEE802.3u/IEEE802.3x	
	無線部	IEEE802.11/IEEE802.11b/IEEE802.11g/ARIB STD-T66	
インターフェイス	10/100Mbps RJ45ポート×1(AUTO-MDIX対応)		
周波数帯域	2.4GHz [2.412~2.472GHz(中心周波数)]		
チャンネル	1~13ch		
伝送方式	11g : OFDM方式、11b : DS-SS方式		
送信出力	最大18dBm		
伝送速度	有線部	10/100Mbps	
	無線部	11g : 54/ 48/ 36/ 24/ 18/ 12/ 9/ 6Mbps、11b : 11/ 5.5/ 2/ 1Mbps	
伝送距離※ (IEEE802.11g)	屋外	54Mbps(100m)/ 48Mbps(150m)/ 36Mbps(180m)/ 24Mbps(220m)/ 18Mbps(220m)/ 12Mbps(250m)/ 9Mbps(250m)/ 6Mbps(270m)	
	屋内	54Mbps(40m)/ 48Mbps(50m)/ 36Mbps(60m)/ 24Mbps(70m)/ 18Mbps(70m)/ 12Mbps(80m)/ 9Mbps(80m)/ 6Mbps(100m)	
伝送距離※ (IEEE802.11b)	屋外	11Mbps(130m)/ 5.5Mbps(180m)/ 2Mbps(220m)/ 1Mbps(270m)	
	屋内	11Mbps(60m)/ 5.5Mbps(90m)/ 2Mbps(110m)/ 1Mbps(130m)	
アクセス方式	アドホック、インフラストラクチャ(AP使用時)		
アンテナ方式	ダイパシティアンテナ(内蔵×1、外付×1)		
セキュリティ	SSID、WEP 64/128/152ビット、WPA-PSK		
対応機種	設定時	Webコンフィグレーション PC/AT互換機(DOS/V)およびNEC PC98-NXシリーズでMicrosoft® Internet Explorer5.5以上を搭載した機種	
	動作時	イーサネット有線LANポートを有する有線LANでの通信が可能な機器	
対応プロトコル	TCP/IP、Apple Talk、IPX/SPX		
電源仕様	電圧 : DC5V 電流 : 2A (ACアダプタを使用)		
消費電力	最大6W		
外形寸法	(幅)約30mm×(高さ)約124mm×(奥行き)約96mm		
質量	165g		
付属品	ACアダプタ、LANケーブル、縦置きスタンド、外部アンテナ、ユーザーズマニュアル、保証書		

※伝送距離はあくまでも目安であり、ご使用の環境によって変化します。

IEEE802.11b/g対応ワイヤレス イーサネットアダプタ
LD-WL54G/WEA ユーザーズマニュアル
発行 エレコム株式会社 2005年2月14日 第1版 w

©2001 ELECOM Co.,LTD. All rights reserved.

Air @ Hawk

ELECOM